



No.1053
 発行
 2021年
 10月12日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 清野 聡
 編集責任者
 教 宣 部

今こそ闘いを進めていこう

第74回定期大会開く
 2021年10月2日

第74回定期地方大会が10月2日
 地本会議室において開催しました。
 新型コロナウイルス感染の中であ
 り、短時間の日程で行いました。
 大会では、代議員10名中9名の
 出席（委任状3名）で大会が成立
 しました。

議長選出は 石田代議員

13時に藤井副委員長の開会あい
 さつでスタートし議長選出は新潟
 運輸区分会の石田代議員が選出さ
 れました。



取り組みを強化していく

石田代議員のあいさつは「本大
 会は74回大会、74年前に新潟地本
 が発足し74年の歳月が過ぎている。
 組織強化・拡大について、分会が
 上手く機能していない。組織人員
 が分散しているので難しい状況だ。
 今後、組織拡大を含め取り組みを
 強化し進めていきたい」



清野委員長 あいさつ



〇ワクチン接種は2回目が終わっ
 ても感染するので感染防止に努め
 ていく。コロナもインフル同様
 予防接種が必要だ。

〇交運共済が変更になる。2023年4月1日から総合
 共済を除く共済事業がコープ共済になる。契約更新につ
 いては、個人が手続きしていくことになる。

〇自民党総裁選挙があった。10月には衆議院選挙だ。
 野党統一候補の当選を目指して頑張っていく。来年は参
 議院選挙も行われる。野党統一候補の勝利に向けて頑張っ
 ていこう。



新型コロナウイルスの感染状況
 は4月1日現在、世界で感染者数
 は1億4千万人・死亡が400万
 人で日本では感染者数は145万
 人・死亡が1万5千人でまだ続
 く
 と予想される。
 スペイン風邪流行ったとき、世
 界で起っていた戦争も終わらせた。



大会の来賓あいさつは予定して
 いませんでしたが、退職者組合の
 阿部議長が出席、あいさつして頂
 きました。
 現在地連の議長と新潟支部の役
 員も兼任している。ぜひ、あいさ
 つしたいと出席した。

阿部議長 あいさつ

国鉄退職者組合
 新潟地方連合会

労働者の賃金は下がっているが
 役員報酬や内部留保は多くなって
 いる。
 総選挙では野党共闘で取り組み
 を強化しがんばっていく。
 国労の運動から多くの財産がま
 だ残っている。地域共闘など今後
 も取り組んでいく。



〇大会はその後、運動方針の提案、
 財政関係の提案がありました。休
 憩し、一般討論など質疑討論は14
 時25分から再開しました。



みんなの意見

●10月、60歳になり来月から第一建設へ入社となる。

赤字で修繕費削減 除草できない

工務関係について、コロナで赤字になり修繕費が大幅に削減された。沿線の草が伸びているが除草する薬が無い。沿線の草、木が伸びて沿線住民から苦情が多く出ている。

会社はモニタリング（動画の撮影、分析）で車両に機材を搭載し動画撮影を実施しているが、線路沿線の草木が伸びているので動画が撮れない



状況だ。線路巡回は、モニタリングの実施で1カ月に1回だったが3カ月に1回となった。

支社は線路設備に問題が無いようにし線路巡回も考えていると言っている。しかし要員不足で除草ができない。草が非常にすごい状態になっている。

石綿を取り扱う作業をしていたためJRへ健康管理手帳の申請をした。取得について4月26日、会社から面談の連絡があり検査で診断された病名を話した。会社は石綿と無関係な病名と言った。職場では同じ病名の社員がいる。健康が守れない。

赤字で仕事が無い

●トキ鉄に意向している。コロナでJR東日本が赤字で組織の再編成や労働時間の短縮などあった。柏崎でシートの交換をJR東日本が実施している。出向者の仕事が無くなり合理化される。再雇用について、通勤は50キロぐらいと認識しているが今はどうか。



作業量が多くなった

●東労組の解体から社友会となった。国労組合員は高齢化が進む。若手社員の人数が減っているが業務の拡大で作業量が多くなっている。

若手の状況は上に行きたいから何でもやっている。年齢が高くなるとくるとなかなかできなくなってくる。会社と労組との状況から職場の雰囲気が変わってきている。

除草について、広範囲でやっている。除草量は量を考えてまかないと足りなくなる。



本線関係は機械で散布できると助かる。社員数が減っているので改善して欲しい。国鉄闘争のときと状況が違う。国民的な運動になっていない。職場の実態を広範に宣伝していく。

●分会は、エルダー出向で分会組合員は分散している。分会組織について地域分会として再編成を考えて欲しい。



赤字で製作できない

●職場で9月上旬にコロナ感染者が出た。濃厚接触者は1人、2週間の自宅待機だ。感染者はいろいろなところで接触しているのではないか。JR東日本は2週間の年休か病欠か。

コロナでJR東日本が赤字で車両が製作できないので減らすことになった。

10月5日からブラ日勤、4日は仕事だったが年休を取った。業務が減らされて仕事が無くなった。Jトレックは赤字でボーナスがあったが今年も赤字になるのか。



●職場の状況・3月ダイヤ改から機関車がDE10からDD200へ変わった。DE10が無くなった所属機関車が無い。検修は12名となった。酒田港で毎週火曜日に仕業検査があるが今のところは交通事故が無いが冬季は難しいのではないかと。

関東支社へ冬季体制について要求を出した。本線の除雪要請については支店からJR東日本新潟支社へ要請すると回答した。貨物組合員として除雪体制を万全にして欲しい。貨物協、現在組合員は11名。この組織状況から地本で考えて欲しい。



大会は出席した代議員、職協代表からそれぞれ発言がありました。

職場の作業実態や問題点、エルダー出向に関して多くの発言がありました。そして、JR東日本がコロナで赤字になり厳しい財政状況も報告されました。

特に出向先の関連会社など厳しい経営状況になっています。

書記長集約



●組織強化・拡大 コロナ禍で取り組みができなかったが、今年には組織拡大検討委員会を立ち上げ取り組み組合員、皆さんの御協力をお願いしたい。

○「変革2027」〜合理化が進んでいる。合理化提案が矢継ぎ早に出され組合員がついていけない状況だ。これから大変な状況になるが団交で追及していく。

●NTSが赤字でプロパー社員が新潟地域や長岡地域など出向に出されている。職場では合理化が進み仕事量が増えている。長岡や新津の仕業検査では業務内容が多くなっている。○地本としても、さまざまな課題が山積している。職場の組合員、社員の不満・不安を改善していくため取り組みを強化しすべての取り組みに拡大行動を含めて頑張っていこう。

